

平成29年度事務事業評価表【評価版】の見方

おもて面

事務事業評価表【評価版】（平成29年度実績）

【 554】

事業名：行政評価・外部評価推進事業

★事務事業の担当
所属名を表示

政策推進課 参事（総合計画・総合戦略）

政 策	09 計画推進		戦略	
取 組 の 基 本 方 針	01 自主・自立の市政運営の推進		プロジェクト	★政策・取組の基本方針等 第6次江別市総合計画の 施策体系を表示
			プログラム	
開始年度	平成16年度	終了年度	—	補助金の性格

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

★対象
事務事業の対象となる物・人などを記載

★補助金
補助金等を支出
している場合、
その性格を記載

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・評価調書の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う
 - ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施
 - ・行政評価にかかる職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修
 - ・学識者・有識者、市民公募委員などから構成される行政評価外部評価
- に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。

★手段
この事務事業の具体的な手段・手法を記載
補助金等を支出している場合、その根拠等を記載

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。
- ・外部評価の実施により、職員の行政評価の質が向上し、総合計画の一層の推進につながる。

★意図
この事務事業によって対象を
どのようにするのかを記載

行政評価の質が向上し、総合計画の一層

指標・事業費の推移

区分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度当初
対象指標 1	市職員	人	1,158	1,160	1,162	1,160
対象指標 2	市民		87	119,250	118,979	118,979
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数		3	2	1	2
活動指標 2	外部評価委員会開催回数		6	6	6	0
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成率		54.2	64.9	66.1	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	90.4	92.3	92.9	100
事業費 (A)		千円	2,817	2,824	2,923	2,800
正職員人件費 (B)		千円	10,481	11,505	9,142	9,266
総事業費 (A+B)		千円	13,298	14,329	12,065	12,066

★対象指標
★活動指標
★成果指標
対象・手段・意図
を測る具体的な
指標名を表示

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市民アンケートの実施 庁内研修会の開催 行政評価外部評価委員会の開催	市民アンケート実施経費 2,657千円 庁内研修会開催経費 8千円 行政評価外部評価委員会開催経費 252千円

★事業内容・費用内訳
評価対象年度の具体的な取組内容と、
それにかかった主な費用の内訳を記載
※主なもののみ記載しているため、
合計金額が上の事業費（A）と一致しな
い場合があります。

★事業費・正職員人件費
年度別の事業費を記載
人件費は、各事務事業に
要する正職員の人件費を
一人当たり単価から計算
して記載

平成29年度事務事業評価表【評価版】の見方

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景

平成16年度を始期とした第5次総合計画の策定に伴い、PDSサイクルなどの新しい手法を~~取り入れ~~した統一視点を行政の検証・見直しを行うシステムとして導入した。

★事業開始背景
この事務事業が開始された時点で特徴的な事象があれば記載

事業を取り巻く環境変化

平成26年度を始期とした「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」が、PDSサイクルからPDCAサイクルへ見直しを行い、総合計画の継続を行っている。

★事業を取り巻く環境変化
社会情勢や時代の変化によって事業を取り巻く環境が変化したことを記載

平成29年度の実績による担当課の評価（平成30年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？（目的妥当性）

妥当である

妥当性が低い

★評価（1）
この事務事業が税金を使って行政が行うことが適切かどうかを評価する項目

「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」は、江別市が目姿を実現するための基本方向を示す「えべつ未来づくりビジョン」を重点的・集中的に取り組むための「えべつ未来づくりビジョン」市総合計画における目標を達成するための進行役割に合うものである。

(2) 上位計画等（総合計画・個別計画等）への貢献度は大きいですか？（上位貢献度）

貢献度 大きい

貢献度 ふつう

貢献度 小さい

基礎的事務事業

★評価（2）
この事務事業が属する総合計画体系上の基本方針、個別計画の達成に貢献しているかどうかを評価する項目

PDCAサイクルによる行政評価の手法を用いており、総合計画の進行管理を行う本事業の

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？（成果動向及び原因分析）

上がっている

どちらかといえば上がっている

上がっていない

★評価（3）
この事業の成果が計画どおり上がっているかどうかを評価する項目

平成26年度を始期とした10か年の計画である。成果を検証するにあたっては時期尚早ではあるも

(4) 成果が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？（成果向上余地）

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

★評価（4）
この事務事業の成果が現状よりも向上する可能性があるかどうかを評価する項目

各施策や事務事業の積極的なスクラップアンドビルドの向上が期待されるほか、外部の視点を取り入れ期待される。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？（効率性）

ある

なし

★評価（5）
事業の成果を落とさず、コストを削減する方法があるかを評価する項目

本事業は行政評価及び外部評価を実施する上で必要最低限度の内容にて実施は困難である。